

保育所給食における伝統料理・食品の調査(第3報)おやつについて
 聖セシリア女短大幼教 峯本真知子 ○松本けい子
 秋草学園短大幼教 高橋美保

目的 前報で私達は、全国公立保育所給食献立を入手し、給食システムを調べ、昼食献立を分類し、伝統食品の利用を調査した。その結果、和風料理献立が多く、洋風料理が次いでおり、全国的に多く利用されていた伝統料理は、保育園児や幼稚園児のアンケート結果からも、幼児の嗜好に合ひ、家庭でも母親の作る割合が高いことを報告した。本報では保育所給食献立から満三才以上の3時の間食献立を分析し、幼児における間食について検討を行った。

方法 保育所給食献立は前報と同様に全国26ヶ所を対象としたが、間食献立の事かかれていない地区は除外した。おやつと飲み物の調査を行い、おやつは和菓子、洋菓子、主食の様なもの、手作り風なもの、季節感のあるもの、スナック菓子、乳製品、果物などに分類し、飲み物は牛乳、スキムミルク、乳酸飲料、麦茶・ほうじ茶、飲むヨーグルト、ジュース、紅茶などに分類した。アンケート調査は幼稚園児を持つ母親139名に行い、間食摂取状況、間食に対する母親の意識度と使用度の比較を行った。

結果 保育所給食の間食献立は、手作り風なもの、果物、洋菓子などの摂取割合が高い。主食の様なものは保育時間の長短に影響するの、文京区(30%)と多い所と、0%の地区とばらつきがみられる。和菓子では餅類・せんべい・かりんとう・団子等があり、おやきや五平餅などの郷土食品もみられる。飲み物は牛乳やスキムミルクが多い。アンケート結果では、果物・せんべい・牛乳・麦茶が好ましく、よく与える食品とされている。手作り和菓子は50%以上の人が好ましいとしながら、よく与える母親は4%しかない。